

事業所名

放課後等デイサービス ぐりの木

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7 年

12 月

15 日

法人（事業所）理念	人と人とのつながりを大切に。						
支援方針	日常生活・遊び・集団活動を通して、一人ひとりの特性や発達に応じた自立を促すための支援を提供します。						
営業時間	9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり （学校→事業所のみ）	
	支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前には学校や家庭などから体調や様子を確認する。 ・検温 ・健康観察をし、体調不良時には静養を促す。 ・生活リズムや生活習慣の形成。 ・スケジュールを提示し、手洗いや自己管理などの生活習慣が身につくよう支援する。 ・基本的生活スキルの獲得 ・必要に応じた着替え・衣類の調整 ・排泄の見守りや介助、トレーニング ・食事・おやつ ・クッキングの実施 等 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢と運動・動作の向上 ・姿勢と運動・動作の補助的手段の活用 ・保有する感覚の総合的な活用 ・感触遊び等個々の感覚を刺激し、発達を促す遊びの提供（スライム、小麦粉粘土、片栗粉粘土、センサリーマット等） ・運動遊び（リレー、ケンケンバ、風船パラレ、サーキット、ドッヂボール、なわとび等） ・指先を使う自立課題の提供（ピック差し、ひも通し、ボタンの留め外し、靴紐を結ぶ、色や数のマッチング等） ・感覚や認知の特性（感覚の花瓶や鈍麻）をふまえ、環境調整等の支援を行う 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・認知の発達と行動の習得（パズル、カードゲーム、ボードゲーム、ブロック、創作等） ・空間・時間・数等の概念形成の習得 ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 ・子どもの理解やニーズに合わせ視覚支援を用いながら認知面の形成を行う。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言語の形成と活用（ことばカード等のツールの使用） ・言語の受容及び表出（音読、ことば辞典の作成等） ・コミュニケーションの基礎的能力の向上（トーキングゲーム等） ・コミュニケーション手段の選択と活用間・時間・数等の概念形成の習得 ・会話を通じて相手の意図を理解する、自分の考えを伝えるなど、言語を受容し表出する支援を行う。 ・遊びや創作活動等を通して他者との関わりを体験できるように支援する。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との関わり（人間関係）の形成 ・自己の理解と行動の調整 ・仲間づくりと集団への参加 ・場面に応じた他者との関わり方をその都度教えていく。 ・ルールのある遊びを通して、社会のマナーや他者との関わり方を経験し学べるように支援する。 ・他者と一緒に遊ぶことを通してルールを理解し集団遊びへ参加できるように支援する。 ・他者との対立が生じた時、職員が介入し自分の気持ちや相手の気持ちを理解することを試みながら、自己調整できるように支援する。 等 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での困り感や支援方法について、保護者の要望に応じて相談できる場を提供することや6ヶ月に1回、利用児及び保護者と支援者で懇談を実施。 ・学校からの送迎・利用時間の延長を本人及び保護者の同意に基づいて行う。 		移行支援	・就学や他放デイなど移行に合わせて、利用児の情報を提供することで円滑に移行ができるように努める。（サポートブックの作成・更新等）		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方との交流や、公共施設を利用する事など地域での活動を通して子ども達が地域で過ごすための力を身につけていく。 		職員の質の向上	・障がい理解などの研修や日々の支援についてミーティングを行うことで療育の質を向上させていく。		
主な行事等		4月お花見 7月七夕 8月夏祭り 10月ハロウインパーティー 12月クリスマス会 1月お正月あそび 2月節分 3月つくづく卒業式（退所児童お別れ会） ※月案を立てて季節にあつた行事を取り入れていく。					